

2024年分「有料レジ袋収益金」を東急財団に寄付

株式会社東急ストア（本社：東京都目黒区）では、レジ袋の販売代金としていただいた2024年分の収益金を公益財団法人 東急財団（本部：東京都渋谷区、理事長：金指潔）へ寄付いたしました。プラスチックの埋立・自然投棄による環境汚染や海洋ごみ問題など、私たちの生活環境を取り巻く課題が深刻となる中、当社では環境に配慮したバイオマス原料を配合したレジ袋の有料販売により、お客さまと共にレジ袋の使用量削減と環境負荷低減に取り組んでいます。寄付先の東急財団は、多摩川流域および周辺地域の環境に関する啓発普及事業や活動支援事業などに取り組んでおり、寄付金を同財団の環境保全活動に役立てています。

これからも東急ストアでは、お客さまのご理解とご協力のもと、環境保全活動や社会貢献活動を続けてまいります。

【有料レジ袋収益金寄付の概要】

1. 対象期間
2024年1月1日（月）～12月31日（火）
2. 対象店舗
東急ストア・プレッセ全店
3. 寄付額
100万円
4. 寄付先
公益財団法人 東急財団



公益財団法人 東急財団について

1974年（昭和49年）、東京急行電鉄株式会社（現 東急株式会社）の五島昇社長（当時）は、東急の事業地域の中心を流れる多摩川流域の環境浄化を図るため「とうきゅう環境浄化財団」を設立。2010年には「とうきゅう環境財団」と改称し、水質浄化のみならず、多摩川流域の生物の実態、歴史文化も含めた調査研究を幅広く支援することとし、多摩川流域を中心とした豊かな環境の創造を目指してきました。

とうきゅう環境財団は2019年4月、「とうきゅう留学生奨学財団」「五島記念文化財団」と合併し「東急財団」として新たにスタートしました。